

# 積雪・凍結時の交通事故防止

## 雪の種類による注意

### ○ 新雪

雪が積もったばかりの状態です。中央線や外側線などが見えづらくなります。左に寄りすぎると、側溝などに脱輪してしまったり、中央に寄りすぎると対向車線にはみ出してしまったりする危険性があります。

また、雪が舞う状況もあるので、視界が悪くなります。交通量が少ない道路を走る際は、特に注意しましょう。

### ○ 圧雪

車が走行することで、雪が踏みつけられた状態です。路面はツルツルとなり、滑りやすくなります。圧雪道路では、急ハンドル・急ブレーキ・急加速の『急』が付く運転は絶対に避けましょう。

### ○ アイスバーン

積もった雪が解けて、再び凍った状態です。氷と雪が混ざった状態なので、冬用タイヤを装着していても滑りやすく安心はできません。路面が白くなってアイスバーンになっている場合は目に見えるため注意しますが、路面の色が通常の状態に凍結している場合は最も危険です。路面が光っていないかを確認し、雪が止んだからといって、安心することなく注意が必要です。

## 橋の上やトンネルの出入口

**特に注意！**

**橋の上やトンネルの出入口付近は、風が吹き抜けることで凍結しやすくなります。乾燥した路面を走行する速度そのまま橋に入ったり、トンネルから出たいすると、スリップする危険性があります。**

**特に注意が必要です。**